

子供と共に考える進路

千葉市教育委員会

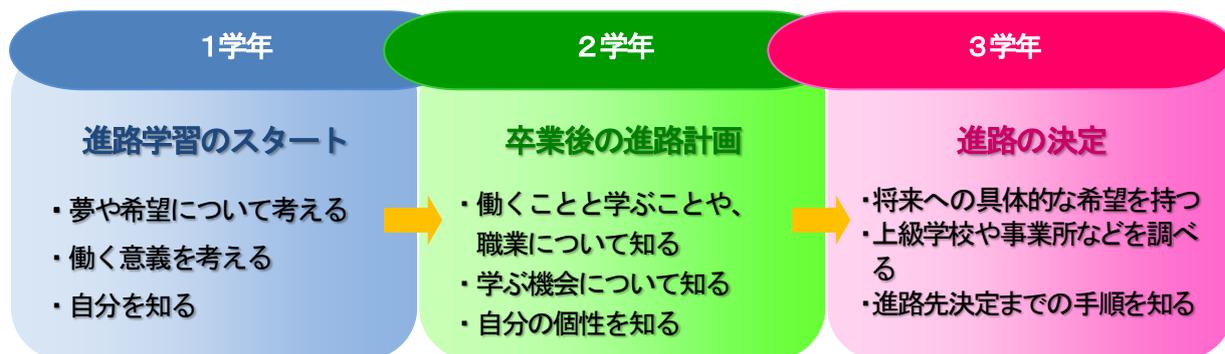
子供たちは中学生になると体や心が目に見えて成長し、頼もしくもなり、将来が楽しみになってきます。しかし、目の前に迫った進路の選択・決定のことを考えると、どうすればよいかと不安になることもあるでしょう。

子供の進路について、「保護者としてどのように関わっていけばよいのか」という視点で、この資料を作成しました。

将来の夢や生き方を考える進路学習

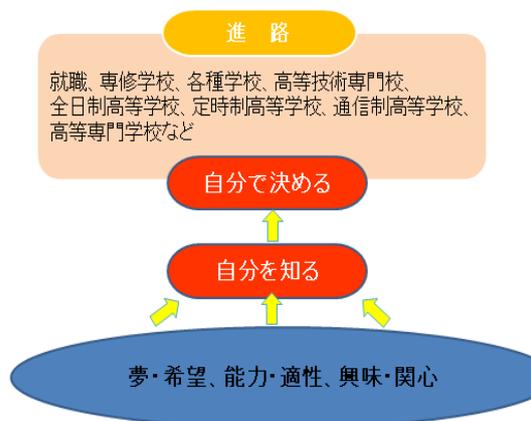
子供たちには、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、社会的・職業的自立を目指し、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てることが必要であり、これは生涯にわたりあらゆる機会を通じて行う必要があります。

学校では、夢や希望の実現へ向けて、生徒が自らの生き方を考え、将来の進路設計ができるように進路の学習を進めています。



Q1

進路の選択はどのようにしたらよいのでしょうか？



A1 一般的に中学校卒業後の進路というと「高等学校への進学」すなわち「進学」と考えられているところがあります。その結果、「入学できそうな学校選び」となる傾向がありました。このため、本人の興味・関心や特性等が軽視され、進路先での目標を見い出せず、中途退学者が出るなどの問題も起きています。本来、進路選択・進路決定は夢・希望、能力・適性(特性)、興味・関心等を総合的に判断してなされるべきものです。現在そして将来にわたって、子供たちが、真の「生きる力」を身に付けるために、「入学できそうな学校」ではなく、将来の進路を見据えた主体的な進路選択、「行きたい学校・行きたい職場」の選択が大切となります。

保護者はどんなことを考えたらよいのでしょうか？

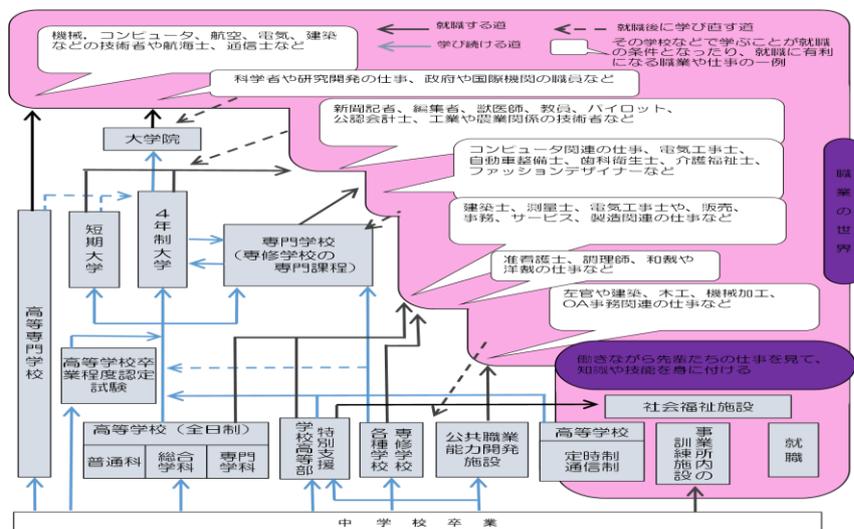
A2 進路の選択にそなえて、次のような点に留意してみましょう。

1 子供に生き方を考えさせる

子供に進路を選択・決定させる際に、将来どのように生きるのかを考えさせることが大切です。それは、希望を実現するために、今何をなすべきかという現在の生活の仕方、方向性を導き出すことにつながります。

2 希望する進路のコースを親子で検討する

昨年度、県内では98.9%の中学生が高等学校等へ進学しています。しかし、これらの子供たちの中には、「何のために進学するのか」を十分に考慮しないまま進学する人も少なくないようです。将来どう生きるかについて、保護者として助言や支援をする中で、「何のために進学するのか」という目的をしっかりと持たせることが大切です。



3 保護者の姿勢や期待を振り返る

子供が中学3年生になった今、その将来や進路について、保護者としてどのような姿勢で、どのような期待をかけ、どのように支援するのか、冷静に見つめなおしてみましょう。その際、以下のような姿勢が望まれます。

- 子供自身に進路を選ばせる。
- 子供にふさわしい進路を共に考える。
- 適切なアドバイスで、子供の意欲を喚起する。
- 進路に関する見栄や体裁にこだわらない。



4 子供の個性をとらえ進路選択に生かす

将来の進路を考えるにあたっては、子供の「個性」について改めて考えてみるのが大切です。また、職業や上級学校に関する情報を入手し、その情報と子供の個性を照らし合わせ、適性を見定めながら、進路を選択させていくことが大切です。

5 社会の情勢について子供と共に考える

子供によりよい職業希望を持たせるためには、自分の適性をしっかりと自覚させると共に、産業や職業の動向等にも着目させることが大切です。子供たちをとりまく社会が時代と共に大きく変化していることにも留意していく必要があります。

6 子供の意思を尊重して支援する

子供が中学校卒業後の進路先を選ぶことは、自己の進路計画実現の第一歩です。したがって、進路計画が適切なものならば、希望する仕事や学校に挑戦する意欲や合格へ向けての努力も充実したものになっていくと思われます。子供の立てた進路計画の検討から、その計画の実現に向けて支援しながら、あくまで子供が主体であることに留意し、その意思を十分に尊重した助言が望まれます。

進路先の選択・決定にあたって、

保護者のできることはどんなことでしょうか？

A3 進路先の選択・決定にあたって、次のような点に留意してみましょう。

1 就職や進学する意義や目的をはっきりさせる

「何のために、何を求めて就職や進学をしたいのか」をじっくり話し合う必要があります。保護者の経験、生きがいや価値観等を子供に話してあげるとは、とても意義のあることです。具体的には、希望職業に対する本人の能力・適性、興味・関心等や、希望職業と進学したい学校・学科との関連について、最終の確認が必要です。

例えば、右のような進路希望達成のステップに従って、子供と共に考えていくのも一つの方法です。

進路希望達成の6つのステップ

- 1 **希望** ～になりたい
- 2 **目的** ～のために
- 3 **方法** ～になるには
- 4 **生きがい** ～になるべきか
- 5 **可能性** ～になれるか
- 6 **意思** ～になろう
- 実現** ～になる

2 「合否」だけでなく「適否」を検討する

進路先の選択・決定にあたっては、合格できるかどうかだけではなく、子供が進学や就職するのにふさわしい進路先かどうかを、個性や適性、興味・関心などを踏まえて十分検討しましょう。そのためには、進路先の情報をできるだけ多く入手し、子供の個性を見つめるとともに、子供と一緒に考えることが必要です。

3 進路先の特色を把握させる

子供の希望している職場や学校の雰囲気、仕事・教育内容等の特色を把握させることが大切です。職場・学校訪問や体験入学、説明会等へ直接出かけたり、パンフレットやインターネット等で情報を入手することも必要です。

また、その職場で働く人や学校の在校生・卒業生が身近にいれば、直接話を聞いてみるのもよい方法です。自分の希望する職業や学校を見つけることが「やりがい」や「生きがい」を見つけることにつながります。なお、就職条件や入試制度は年々変化しています。詳細については、募集要項や学校案内等で必ず確認してください。

特色の把握

- **就 職**
仕事内容、雇用条件、待遇、雰囲気、規模、通勤手段及び時間 等
- **進 学**
教育方針・校風、学習内容、入試及び進路状況、通学手段及び時間、習得できる資格 等

4 十分に家庭で話し合いを重ね、最後は子供に決定させる

学校での進路相談だけではなく、家庭でも気持ちや時間にゆとりを持ち、落ち着いて話し合う機会を設定しましょう。保護者としての考えや期待を十分に伝えつつ、最後まで子供の意思を尊重する話し合いを心がけましょう。そうすることが、子供が希望の実現に向けて努力する過程で困難に出合った時に、「自分が選んだのだから、自分で乗り越えよう」という気持ちにつながるからです。

公立高等学校入学者選抜の制度は

どのようになっていますか？

A4 平成23年度千葉県公立高等学校入学者選抜から、「前期選抜」と「後期選抜」が実施されています。以下は、2020年度入学者選抜について掲載します。

2020年度公立高等学校入学者選抜（2020年4月入学生）の日程について

（前期選抜・後期選抜とも、「検査日程」以外は昨年度のものです。）

（1）前期選抜

ア 検査日程

検査日 2020年2月12日（水）、13日（木）

発表日 2020年2月19日（水）

イ 選抜枠

普通科については、募集定員の30%以上60%以内

専門学科及び総合学科については、募集定員の50%以上100%以内

ウ 検査内容

第1日 5教科（国語・数学・英語・理科・社会）の学力検査で、1教科50分、共通問題とする。

第2日 各高等学校において、面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査及びその他の検査のうちからいずれか一つ以上の検査を実施する。

エ 選抜方法

「第1日の5教科の学力検査の成績」、「第2日の各高等学校において実施した検査の結果」、「調査書」、「志願理由書」等を資料とし、各高等学校が総合的に判定して入学者の選抜を行うものとする。

（2）後期選抜

ア 検査日程

検査日 2020年3月 2日（月）

発表日 2020年3月 6日（金）

イ 募集人員

募集定員から、前期選抜の入学許可候補者内定者を減じた人数

ウ 検査内容

5教科（国語・数学・英語・理科・社会）の学力検査で、1教科40分、共通問題とする。各高等学校が必要に応じて面接等を実施する。

エ 選抜方法

「5教科の学力検査の成績」、「面接等を実施した高等学校については、その検査の結果」、「調査書」等を資料とし、各高等学校が総合的に判定して入学者の選抜を行う。

※ 県立泉高等学校、県立船橋古和釜高等学校、県立流山北高等学校、県立天羽高等学校は「地域連携アクティブスクール」のため、独自の選抜方法となっています。

○生徒配付資料○

本市では、市内中学校の先生方が作成した以下の資料を用いて進路学習を進めています。ご家庭でお子さんと進路の話を進めるときに大いに役立ちます。ご活用ください。

■ 1・2年生用 進路学習ノート 「わたしの夢」

自分のことや生き方を考えるためのワークシートや進路学習に必要な資料を掲載。

■ 3年生用 進路選択の手引「ハロー マイ フューチャー」

進路学習の考えをまとめる学習ノートと進路先決定までの手順や通学区域、上級学校一覧などの資料を掲載。